

# 仕 様 書

## 1. 品 名 高速液体クロマトグラフ質量分析計

(参考機種)

- ・ (株)島津製作所 LCMS-2020 システム 1 式
- ・ 日本分光(株) EXTREMA システム 1 式
- ・ Waters QDa システム 1 式

※参考機種のほか、3の基本的仕様を満たしているもの

## 2. 数 量 1 式

## 3. 基本的仕様

- ① 2液以上のグラジェント（低圧・高圧は問わない）が可能な HPLC 用ポンプを持つこと。
- ② 試料注入用のオートサンプラーを持つこと。
- ③ エレクトロスプレーイオン化法 (ESI) または大気圧イオン化法 (APCI) が可能なこと。双方を切り換え、或いはオプションで追加可能であることが望ましいが、十分な感度を持つ場合はそのうち 1 つのイオン化法が可能であること。HPLC からの全量を MS に導入できること。
- ④ イオン化に必要な流量を持つ窒素発生器を持つこと。
- ⑤ 正・負イオンの切り替えが可能であること。
- ⑥ 質量範囲が 30-1200 (m/z) を超える範囲であること。
- ⑦ HPLC システムとのソフトウェア制御等の互換性があること。
- ⑧ 質量分析計側に自動キャリブレーション機能があること。

## 4. 設置場所

国立研究開発法人国際農林水産業研究センター  
共同実験棟 5 階

## 5. 納入期限

平成 29 年 12 月 15 日

## 6. その他

- (1) 納入日、納入方法等の詳細については、担当職員と打合わせのうえ実施すること。
- (2) 機器の搬入、据付完了後、試運転、性能試験を行うこと。
- (3) 納入・設置に際し、在来部分を汚損した場合は、在来に倣い補修すること。
- (4) 納品の際は、検査職員の検査を受けること。
- (5) 修繕の費用については、使用者の故意又は重過失によるものを除き、納入後 1 年間無償とすること。
- (6) その他、業務中に疑義が生じた場合は、担当職員と協議のうえ業務を完了させること。